

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 市民プールバスパック業務委託事業
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす						
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進						
小分類	2	健康・体力づくりの推進						
主要な施策	2	温水を利用した健康づくり						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4cccc;">事務事業コード</td> <td>54122002</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業開始年度</td> <td>平成 1 7 年度</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	54122002	事業開始年度	平成 1 7 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	54122002	事業開始年度	平成 1 7 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市民プールバスパック委託料
------	------	------------	---------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 市民の体力づくりと健康増進を図り、市民プール利用者の拡大を目指す。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 市民プールを利用する方の利便性を図るため、バス運賃と入館料を組み合わせた格安な市民プールバスパックを実施している。 一般・高齢者・高校生・中学生・小学生の区分により、登別温泉・登別方面と鷺別・上鷺別方面の料金を設定。 （例） 一般の方が登別温泉からバスで市民プールを利用すると、1,420円（バス代920円＋プール入館料500円）かかるところが、1,000円で利用できる。
成果	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 格安なパック料金のため、市民がプール身近に感じ、気軽に利用することができた。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 市民プールバスパック事業実施要領

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	バスパック利用者数	人	目標値	250	200	200	200	200
			実績値	84				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	12	32	32	32	32	96
合 計			12	32	32	32	32	96
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	50	51			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		50	51			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民が等しく市民プールを利用できる環境を構築するため、幌別地区以外の市民プール利用者の利便性・経済性を考慮し、市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 市民プール利用者の利便性、経済性の向上が図られる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ さらにPRを行い、利用者の拡大を目指す。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市民プールへの利用手段が車が主で、本事業の利用者は限られているが、環境問題が取り上げられている現在、自動車を利用せずに公共交通機関を利用している本事業の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市民プールを利用する方への利便性・経済性を考慮した事業であり、環境問題が取り上げられている中、公共交通機関を利用した本事業は必要と考える。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）